

高い耐風強度を持つ「丸馳折版ロック」の受注開始について

三晃金属工業株式会社（代表取締役社長 右田裕之）は、主力製品である丸馳折版シリーズのなかで最高の対負圧強度を持つ「丸馳折版ロック」を開発し、10月より受注を開始いたします。この製品は、従来から高い対負圧強度を持つ製品として販売していた「サンコーロック」の断面形状をさらに改良するとともに、固定方法なども抜本的に見直すことで、新たな製品として完成させたものです。

大型台風などが頻繁に通過する地域などでは、毎年のように屋根の破壊・飛散が発生しておりますが、特に大型工場などの屋根が飛散した場合は、事業継続にも重大な影響が生じるため、屋根の耐風強度、特に対負圧強度の検討は極めて重要です。また、近年は物流センターの大型化・高層化が顕著であり、たとえ大型台風の通過地域でなくとも、屋根に加わる風圧が極めて大きくなることから、同様の検討が必要となっています。

今回開発した「丸馳折版ロック」は、従来の「サンコーロック」をベースに断面形状を改良し、屋根材自体に強力な対負圧強度を実現いたしました。また、新開発の「ルーフストッパー」と緊定金具を併用する方法で、躯体との固定強度を格段に向上させるとともに、強風による万が一の飛散に対する配慮もいたしました。多くの折版屋根は0.8mm以上の板厚が使われますが、負圧に強い「丸馳折版ロック」では、屋根に加わる荷重状況によっては、板厚0.6mmでも対応可能となる場合があります。さらに、主要副資材を当社の主力製品である「丸馳Ⅱ型」とできるだけ共通化することで、経済性も配慮いたしました。

「丸馳折版ロック」は、高断熱仕様の「ダブルパック工法」にも対応可能であり、シングル葺きとともに耐火屋根30分構造認定を取得しています。さらに、先般販売を開始いたしました溶接不要のタイトフレーム「ガッチリタイト」にも対応しているなど、「丸馳折版ロック」は、強い耐風強度が求められる建物の屋根に、あらゆる面でお応えできる製品です。

丸馳折版ロック

高強度

「ルーフストッパー」による嵌合と「緊定金具」による固定により、『高強度折版』を実現しました。

施工性

「ルーフストッパー」の固定部位を折版の上部にすることにより、施工性を高めました。

断熱性

断熱性を高めた「ダブルバック工法」や屋根耐火30分構造にも対応しています。

経済性

折版主力製品『丸馳折版Ⅱ型』の部材を共有化して、経済性に留意しました。



無溶接タイト『ガッチリタイト』にも対応可能です。

